

-栄村info-

さかえむらの ココがすごい！

長野県下水内郡栄村。

長野県の最北部で新潟県との県境に位置しています。ここは日本有数の豪雪地帯であり、その美しい景観から「にほんの里100選」に選ばれているんです。

今回の活動拠点の近くにある森宮野原駅(もりみやのはらえき)は、1945年2月12日に、なんと！7.85mの積雪を記録しており、構内と駅前には"JR日本最高積雪地点"を示す標柱が立てられています。

村内をたおやかに流れる千曲川は、その源流を埼玉・山梨・長野の県境に位置する甲武信ヶ岳(こぶしがだけ)に発し、新潟県に入って信濃川と名前を変えます。途中、谷川岳から流れてきた魚野川と合流して日本海に注ぐ"日本で一番長い川"なのです。



村内には、日本100名山の苗場山(2,145m)の他、日本200名山であり、第2の谷川岳とも称される鳥甲山(とりかぶとやま/標高2,037m)や佐武流山(さぶりゅうやま/2,192m)が鎮座しています。その苗場山と鳥甲山に挟まれた秋山郷(あきやまごう)は、"日本の秘境100選"にも選ばれ、マタギが今なお現存する地域です。栄村の北側には、標高1,000m前後の関田(せきだ)山脈がそびえ、尾根上に延びる全長80kmに及ぶ国内でも稀なロングトレイル"信越トレイル"があります。ブナ林に育まれた自然豊かなこの山脈は、かつて信濃と越後を結ぶ交通の要所として16もの峠道が存在し、越後からは塩や海産物が、信濃からは内山和紙や菜種油が運ばれ、戦国時代には上杉謙信が川中島の合戦の際に何万もの兵を連れて峠越えをしたとも言われています。

また、今回宿泊させていただく古民家「となりの家」がある小滝(こたき)集落には、善光寺参りの参道として栄えた善光寺街道の一部:志久見街道があり、千曲川沿いに歩く素晴らしいトレイルを村民のみなさんが丁寧に整備してくれています。